

災害救助法適用基準の見直し、国に求めよ

村山市長、「どんな取組ができるか検討したい」と答弁



山市長に見解を求めました。

救急車が現場に着くまで最長41分

今冬は二度のどか雪と地吹雪で市民生活も産業も深刻な打撃を受けました。災害救助法の適用まで一歩手前というところまでいきました。が、現行の基準では適用に至りませんでした。

私は、「3メートルを超える積雪になり、家がつぶれるのではないかと心配する事態となっても救助法が適用されない。上越地域消防事務組合管内では、救急車の出動要請があっても、現場までたどり着くには全国平均の7・7分を大きく上回る時間がかかったケースが続出した。なかには最長41分ということが二度もあった。30年ほど前、原健三郎国土庁長官（当時）が『豪雪それ自体が災害』

私は24日に一般質問を行いました。今回は、市民と市長の対話集会、市役所ホームページの改善方向、脳脊髄液減少症対策、今冬の豪雪対策の総括などで村

これに対して村山市長は、「全国には雪の問題で悩む自治体がたくさんある。どんな取組ができるのか相談しながら検討していきたい」と答えました。

脳脊髄液減少症、国に働きかけへ

脳脊髄液というのは、脳内にある無色透明の液体で、脳や脊髄の回りを循環し、脳や脊髄を衝撃から守り機能を正常に保つ働きをしています。脳脊髄液減少症は、この脳脊髄液を覆う硬膜が何らかの強い衝撃を受けることによって損傷し、そこから脳脊髄液が漏れ出すことで機能低下を起し、頭痛や吐き気などさまざまな症状となつてあらわれるものです。

今回の質問では、市のホームページに関係情報を掲載すること、国に対して、実態の把握、診断法・治療法確立、そして保険適用をするよう働きかけるべきだと訴えました。

野澤健康福祉部長は、「当市のホームページ上に特定の疾患に関する情報を掲載したことはないが、今回のホームページ再構築のなかで検討してみたい」と答えました。

また、国への働きかけについて村山市長は、「総論としては十分お聞きした。（県内）31の市町村においてどういう状況なのか、機会を見て私自身が発言しながら取組を図ってみたい」と前向きな答弁を行いました。

市のホームページ全面刷新で提案

市のホームページは、新年度、約1500万円かけて刷新されます。私は課題と問題点を整

救急車の現場までの到着時間

| | 1月13日 | 1月14日 | 1月15日 |
|-------|-------|-------|-------|
| 8分以内 | 11 | 7 | 6 |
| 12分以内 | 6 | 7 | 11 |
| 16分以内 | 4 | 13 | 14 |
| 20分以内 | 1 | 4 | 6 |
| 24分以内 | 2 | 3 | 4 |
| 25分以上 | 0 | 3 | 4 |
| 最長 | 24分 | 36分 | 41分 |

だと言ったが、そういう視点で災害救助法の適用基準の見直しを求めるべきだ」と主張しました。

シリーズ 上越市内の橋

第32回 三之辻橋



「三之辻橋」と書いて「さんのつじはし」と読みます。前号で紹介した「見返橋」の下流にあります。

儀明川に架かる橋には「辻橋」と名がつく橋は「一之辻橋」から「六之辻橋」まであります。同じ川に何本も橋がかかると数字が並びやすいようです。保倉川でも、「一之橋」から「六之橋」まであります。

橋長は約90m。竣工は1975年（昭和50年）3月です。

理するよう求めるとともに、ホームページ訪問者とのやりとりを大切にすること、「選んで伝える情報」だけでなく、「すべてを伝える情報」を重視するよう提案、見解を求めました。村山市長は、「当市のもものは、情報量は多いものの、目的の情報を探しにくい。使いやすく、見やすいホームページを目指す」と答えました。「すべての情報を伝える」ことについては市村総務部長が理解を示しました。

私の本ができました

私の随想集、「『5センチ』になった母」（同時代社、千円）が出来上がりました。原之町の天正堂、柿崎の佐藤書店、高田本町の春陽館書店、直江津の柿村書店などで販売しています。私のところに直接ご注文くださっても結構です。ぜひ一度、手にとってみてください。



わが家の雪割草